

平成21年度国補正事業 経済産業省の 「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」 に採択されました

和歌山県では、県内の間伐材など未利用のバイオマス資源を活用して低コストで高発熱量のブリケット(豆炭状の燃料)を製造する技術を確認するための研究について、経済産業省の平成21年度補正予算事業である「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」に提案を行っていたところですが、このたび採択されたとの発表がありました。

県内では、年間43万7千m³に及ぶ未利用バイオマス資源が発生していますが、この研究が確立されれば、その多くを石炭火力発電所等の燃料として供給することが可能になると期待されます。

今後は、この事業の成果を効果的に展開することにより、実証試験地である日高川町をはじめとする県内各地において、地域経済発展の新たな動脈となるバイオマスエネルギーの供給ネットワークの構築を目指していきます。

1. テーマ

バイオマス活用に向けた高発熱量ブリケット製造技術の開発と低コスト木チップ化実証試験

2. 事業概要

- 機械化オンサイト木チップ化技術の開発(搬出コストの削減)
- 高カロリー・高密度化技術の開発(輸送コストの削減)
- 高発熱量ブリケットと石炭の混合燃焼実験
- LCA(ライフサイクルアセスメント)によるCO₂削減効果と経済性評価

3. 事業期間

契約開始日から平成21年度末まで

4. 事業費

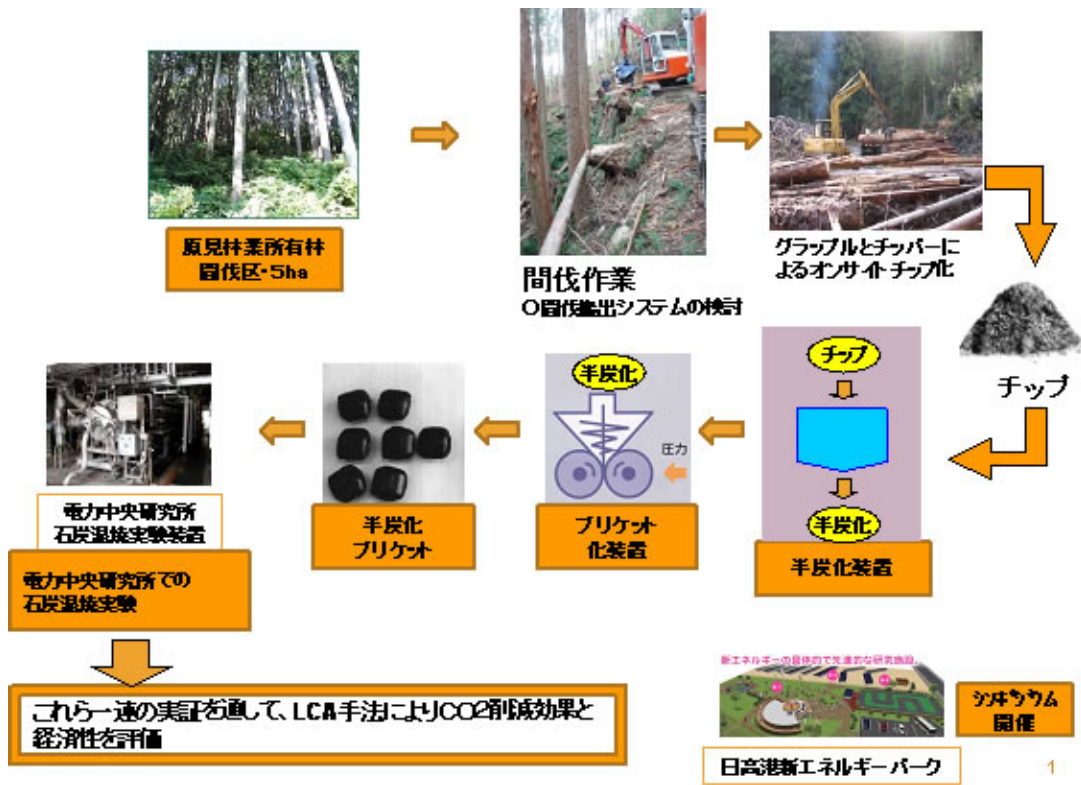
総額8,942万円(全額 国費ベース)

5. 事業実施体制

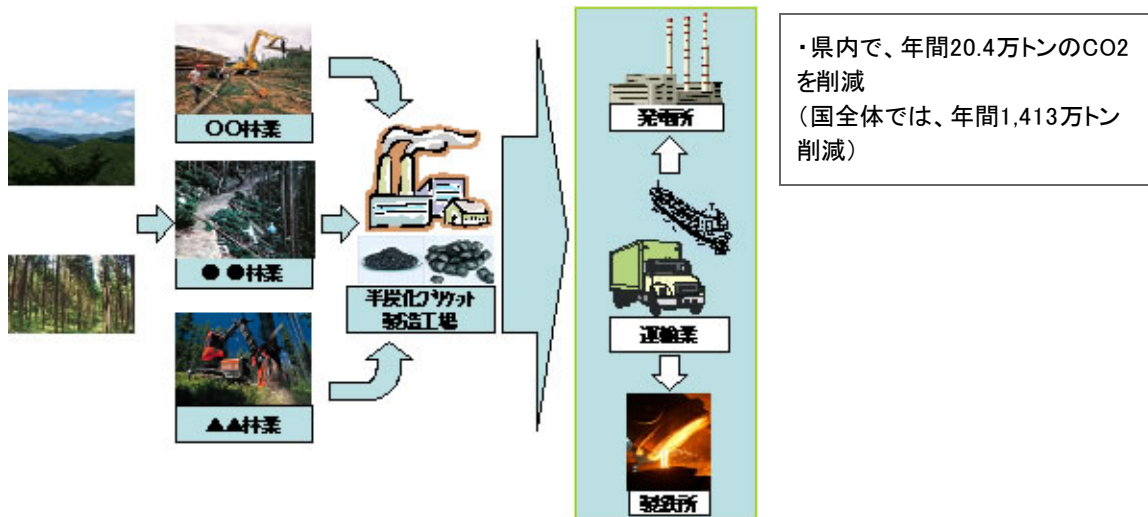
- 事業実施機関・・・(財)わかやま産業振興財団
- 中核研究機関・・・和歌山県工業技術センター
- 参画機関
 - 和歌山県農林水産総合技術センター林業試験場
 - 近畿大学生物理工学部、国立和歌山工業高等専門学校
 - (有)原見林業(和歌山県日高郡)
 - (株)タニノプラント(和歌山県和歌山市)
 - (財)電力中央研究所(東京都千代田区)
 - (独)産業技術総合研究所(茨城県つくば市)

6. 採択状況

応募数・・・90 、 採択数・・・34



将来、事業化によって見込まれる効果



国の事業概要

- ・事業名：平成21年度「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」
- ・公募概要：

大幅な温室効果ガス削減の実現と継続を図るために、得られた知見の集積を社会経済システムに組み込み、地域社会を支える大学、産業界、自治体等がそれぞれの特性を活かして地球温暖化対策に自立的に取り組むことができる分野横断的な方策を早期に具体的に示す取組について公募。
- ・公募期間：平成21年5月25日(月)～6月24日(水)
- ・問い合わせ：経済産業省 産業技術環境局 産業技術政策課

掲載日付：2009年08月18日